

キラリふじみ・フォーラム  
〈こども〉と〈地域〉と〈文化〉がつなぐ  
—市民とキラリふじみが生みだす対話の広場

平成 27 年 12 月 23 日 (水・祝)

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ 展示・会議室ほか  
埼玉県富士見市大字鶴馬 1803 番地 1

入場無料・要予約

11/8 (日) 申込み開始

受付開始 12:30

開場 12:45

市民と文化会館が協働で開催する本フォーラムでは、子育てやまちづくりの分野で活動する市民の方々と演劇の専門家が集まって、子どもの健やかな成長と人格形成のために地域の中に必要となる「こと」や「うごき」とは何なのかを考えていきます。

フォーラムでは、第二部の「対話の広場」にさきがけて、親子で鑑賞できるひとり芝居『べっかんこ鬼』(さねとうあきら原作)を上演します。

また関連企画として、青少年むけの演劇ワークショップを体験・見学する機会を設けました。

キラリふじみ・フォーラム  
〈こども〉と〈地域〉と〈文化〉がつなぐ  
—市民とキラリふじみが生みだす対話の広場

## 第一部 一人芝居『べっかんこ鬼』上演 13 時開演

『べっかんこ鬼』（原作：さねとうあきら 出演：鈴木一功 クリスタルボウル：野村節子）

べっかんことは「あっかんべー」のこと。その顔を見たら、誰でも笑ってしまう。

怖くない鬼は、鬼として役立たず。存在価値がないのだ。そんなどうしようもない鬼が恋をした…。

鈴木一功 一人芝居：役者



演出家蛭川幸雄に師事。桜社を経て「劇団レクラム舎」結成。小松幹生の「雨のワンマンカー」ちねんせいしん「人類館」出演。「人類館」は岸田戯曲賞を受賞。以降、清水邦夫、別役実作品などの上演を続け、現在に至っている。喜一朗名で演出及び戯曲も執筆。代表作に「真夜中のキッチン」（劇作家協会戯曲賞受賞）、「S町の物語」「ダルクの森」などがある。一人芝居も多く執筆・出演しており、「べっかんこ鬼」は一人芝居の集大成として、公演を重ねることに進化している。

## 第二部 「対話の広場」 14 時 30 分開始

◇パネリスト

柳川 道子（社会福祉法人むさし野たんぼぼ会 理事長）

本橋 千賀子（NPO 法人 ふじみっこ・夢みらい 理事長）

小川 知子（どんぐり小屋主宰、柳下農園スタッフ）

中村 和子・名児耶 一子（志木おやこ劇場）

柏木 陽（NPO 法人演劇百貨店代表・俳優・演出家）

会場 富士見市民文化会館キラリふじみ 展示・会議室

参加費 無料（要申込）

※一部のみ未就学児童の入場はご遠慮ください。  
保育あり。対象：1歳以上、未就学児 定員：5名（申込み順）  
料金：500円 締切：12月13日（日）

申込み・問合せ / 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ TEL 049-268-7788

（キラリ☆ふじみへ直接来館または電話、ホームページ <http://www.kirari-fujimi.com/> からのオンライン申込みにて）

主催 / 公益財団法人キラリ財団  
平成27年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業



### 関連企画

#### 柏木 陽さんの演劇ワークショップ

時間：当日 10 時～12 時

会場：富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ スタジオ A

対象：小学生

定員：20 名程度

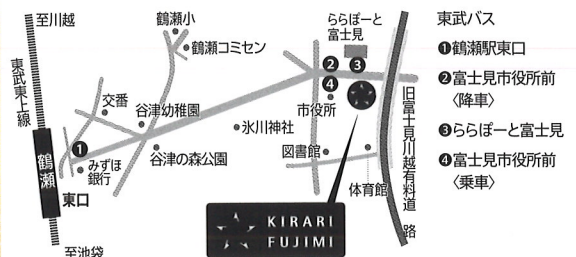
参加費：無料（要予約）

\*ワークショップのみの申込みや見学も可

申込み方法：（キラリ☆ふじみへ直接来館または電話、

ホームページ <http://www.kirari-fujimi.com/> からのオンライン申込みにて）

柏木 陽（かわわぎ あきら） 演劇百貨店代表／演劇家  
1993年、演劇集団「NOISE」に参加し、劇作家・演出家の故・如月小春とともに活動。  
2003年にNPO法人演劇百貨店を設立し、代表理事に就任。全国各地の劇場・児童館・美術館・学校などで、子どもたちとともに独自の演劇空間を作り出している。



【電車】最寄駅＝東武東上線「鶴瀬」駅まで池袋より準急で29分。東口より徒歩20分（タクシー8分）。

東口バス乗り場（暫定広場）から東武バス「ららぽーと富士見」行き、または市内循環バス「富士見市役所」行きのご利用が便利です。  
乗車時間約7～8分。バス停から徒歩約3～5分。「志木」「ふじみ野」各駅からも「ららぽーと富士見」行きバスが出ています。

【お車】富士見川越バイパス「富士見市街出口」を降りてすぐ。富士見市役所隣り。駐車場（無料）は台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。